

北海道の玄関口にふさわしい市街地づくりを進めています。

北斗市に建設される新函館北斗駅は、北海道新幹線の当面の始発・終着駅で、「北海道の玄関口」となります。

市では、平成27(2015)年度の開業に向け、新駅の南側で土地区画整理事業を行い、商業用地(5.3ha)を造成しています。

自然と共に呼吸するモダンで温かみのある駅



新函館北斗駅の利用状況

出典：平成18年 函館圏都市交通マスタープラン

予想駅利用者数

通常時 約10,000人/日
ピーク時 約15,000人/日

予想乗降客数

通常時 約6,000人/日
ピーク時 約10,000人/日

新駅の駅舎は2階建て。2階に改札口を設け、新幹線・在来線ともに1階ホームで発着する構造です。

1階にはアンテナショップとイベントスペース、2階には観光案内所、休憩・喫茶スペースが置かれます。

駅正面ガラス窓からのぞく白い樹木のような柱は、北斗市にあるトラピスト修道院のポプラ並木をイメージしたものです。



商業・サービス施設の建設用地として…

新函館北斗駅では、ピーク時で1日1万人の乗降客利用が見込まれ、駅南側に造成した宅地には、ホテルや小売・飲食店、オフィスなどの立地を促進しています。

また、市では、新幹線開業効果を地域経済の活性化に結びつけるため、この新駅周辺地区に立地し、特定の事業を行う企業に対する助成制度を設けています。(次ページ)

都市計画のあらまし

- 建築物の用途の制限・・・地区計画で指定
 1. 準住居地域の用途制限が適用されます。建築基準法別表第2(と)項に掲げるものは建築できません。
 2. その他、1階部分を住宅とするもの、また、マージャン屋、ぱちんこ屋、射的場、畜舎などは建築できません。
- 建ぺい率の最高限度 80%
- 容積率の最高限度 300%
- 敷地面積の最低限度 300㎡
- その他規制 準防火地域

土地単価(推定)

- 平均 33,000円/㎡
(約25,000円/㎡~50,000円/㎡)
- 平均 110,000円/坪
(約85,000円/坪~165,000円/坪)

新駅周辺地区の開発では、街路や公園をはじめ、駅舎前には乗合バス・タクシー乗り場、さらに、普通乗用車584台収容の立体駐車場と20台分の観光バス専用駐車場の整備されます。



①立体駐車場(584台収容)イメージ



②駅前広場・公園イメージ



③観光バス駐車場(20台)イメージ